



2025 ピースウェイブ in こうち 「第 47 回戦争と平和を考える資料展」に向けて

1945 年 7 月 4 日の高知大空襲を忘れないために 1979 年から始めた第 1 回高知空襲展から数えて 47 回目の資料展となります。毎年、休むことなく続けてこられたのは平和を願う市民の皆さまの協力と支援のお陰です。回を重ねる中で「平和美術展」、「反核平和コンサート」、「平和七夕」、「灯ろう流し」など多彩な企画が加わって 1996 年からは一連の企画をまとめてピースウェイブと呼ぶようになりました。今年も各団体が趣向を凝らして取り組んでいます。その中で「戦争と平和を考える資料展」は草の家主催の企画です。

周知のように、日本は今、戦後政治が基軸としてきた恒久平和主義を捨て去り、未曾有の規模とスピードで軍備拡大を行い戦争準備に邁進しています。大手企業は軍需生産を急速に拡大し、武器輸出にも踏み出しました。戦争に向かう産業構造が確立しつつあり、その障害を除くために、戦後一貫して軍事研究を拒否し続けてきた日本学術会議を解体しようとしています。日本は再び「加害者」なりかねない危険な状況にあります。

ここまで戦争準備がエスカレートしてきた要因は、第一義的にはアメリカによる一極的覇権主義を維持するための対中国包囲、軍事圧力強化に日本が取り込まれ、それに対して日本政府が積極的に追従している構図にあると思います。しかしそれだけではなく、近代日本が日清戦争を皮切りに繰り返してきた侵略戦争とその帰結としてのアジア太平洋戦争や植民地政策に対する無反省、特に加害の責任を置き去りにしてきた戦後 80 年の「平和」の脆弱さが露呈している結果でもあるように思えてなりません。アメリカによって作られた「台湾有事」であるにもかかわらず、「台湾海峡の緊張の原因は」との世論調査に対して、日本では約 6 割が中国に原因があると回答（2023 年言論 NPO）をしています。まるで 21 世紀版「暴支膺懲」です。沖縄戦をめぐる一連の暴言もそれを許す土壌が戦後社会で形成されてきたことによるものだと思います。歴代内閣が節目に行ってきた「戦後談話」も今回は見送りのようですが、戦争準備のための歴史の封じ込めではないでしょうか。戦争は正面装備の強化だけでなく歴史を歪曲しながら迫ってきます。

今、世界も日本も大きな曲がり角に立っています。「過去の過ちを繰り返すのか、過去の記憶を生かすのか」が鋭く問われています。今回の資料展では、アジア太平洋戦争に帰結した近代日本の戦争の足跡を草の家に寄せられた資料や戦争遺跡からたどります。今年は治安維持法施行 100 年でもあります。1930



昨年の「第 46 回戦争と平和を考える資料展」より

年代前半の高知には、戦争の本質を見抜き命懸けで反対し警鐘を鳴らした青年たちがいました。戦前の日本の良心とも言えるべき青年たちにも焦点を当てました。そして南西諸島を中心に列島規模で進む軍事要塞化の現状もみていただきたいと思います。是非お運び下さい。

開催期間 6月28日(土)～7月8日(火) 09:30～17:00 (月曜休館)

場所 高知市立自由民権記念館 (高知市棧橋通4丁目14-3)

「2025年度総会」を開催

5月18日午後2時から、平和資料館・草の家で「2025年度総会」を開催、27名が参加しました。

冒頭、『戦雲』高知県上映連絡会の取り組みで沖縄・高知連帯ツアー(2025/2/28～3/3)に参加した織田千代子さん・鍋島佐知さん(写真)から報告していただきました。

総会では、2024年度活動報告と会計決算報告、会計監査報告。そして2025年度活動方針と予算。2025年度役員について提案を行い、若干の質疑・意見交換が行われました。

すべての議案について、満場の拍手で確認されました。

総会終了後には21名の参加で、美味しい手料理も準備され、なごやかに懇親会を行いました。



「沖縄・高知連帯ツアー」を報告する織田さんと鍋島さん

「2024年度活動報告」は次の通りです。

1. 日本に戦争を呼び込むアメリカのアジア戦略追従の軍備拡大路線ではなく、対話による包摂的な安全保障をめざす

- ・「8・15戦争を語りつぐつどい」8/15(木) (高知県人権啓発センター松村常任理事リレー発言 123名)
- ・「軍事化反対フィールドワーク in 宿毛」11/24(日) (高知市や周辺自治体、地元含む約40名参加)
- ・「軍事化反対フィールドワーク in 須崎」12/01(日) (34名)
- ・「12・8平和のつどい」12/08(日) (こうち男女共同参画センター・ソーレ 約200名)
- ・「戦争を止めよう! 沖縄・西日本ネットワーク」結成 02/22(土) (草の家も加盟、オンライン参加)

2. 沖縄で進められている戦争準備に反対し、平和で豊かな沖縄・日本をめざす

- ・パレスチナと沖縄連帯集会 カルポート 05/25(土)～26(日) 主催憲法アクション
- ・映画「戦雲」上映会取組
- 05/29(水) 高知市上映実行委員会 (以降 6/25・7/24・8/29・9/9・9/21・10/10)
- 06/13(木) 試写会 (メフィストフェレス 17名)
- 07/07(日) 平和映画祭「戦雲」上映会 (自由民権記念館、3回上映 185名)
- 07/21(日) 大月町地域上映会 (大月町農村改善センター、1回上映 14名)
- 07/21(日) 宿毛市地域上映会 (宿毛文教センター、1回上映 50名)
- 08/06(火) 黒潮町地域上映会 (大方あかつき館 57名)
- 08/09(金) 土佐清水市地域上映会 (土佐清水中央公民館 30名)
- 08/24(土) 須崎市地域上映会
- (須崎市立市民文化会館上映 2回参加者 165名)
- 08/31(土) 香美市地域上映会 (香美郡教育会館 49名)
- 09/07(土) 高知市港南地域上映会 (長浜教育会館 28名)
- 10/05(土) 香南市地域上映会 (県立青少年センター 67名)
- 10/12(土) 安芸市地域上映会 (安芸市民会館)
- ・沖縄高知連帯ツアー 2/28～3/3



「軍事化反対フィールドワーク in 宿毛」(11/24)

3.憲法の蹂躪・空洞化を許さず、立憲主義、民主主義を取り戻す活動を推進する

- ・「憲法アクション・19 行動」 05/17(金)6/19・7/19・8/19・9/19・11/19・12/19・1/20)
- ・「憲法アクション呼びかけ人会議」05/21・6/18・7/24・9/19・10/21・11/18・12/24・1/20
- ・「イラク戦争 20 年と日本国憲法」講演会 06/29(土) (2024 ピースウェイブスタート 約 50 人)
- ・『「九条の碑」 建立するこうちの会 (仮称) 準備会」01/15(水) 以降、2/25・3/21
- ・「日本学術会議法案」の廃案を求める声明 (5/7)

4.被爆 80 年に向けて、「核兵器のない世界」の実現をめざす

- ・「ビキニの海のねがい原画展・ビキニ被曝者写真展」5/3～5/11 自由民権記念館 200 名
- ・「ビキニデー in 高知 2024」 05/11(土)～5/12(日)こうち男女共同参画センター「ソーレ」 200 名
- ・「日本被団協・ノーベル平和賞受賞〈受賞祝賀会〉」01/18(土) (高知共催会館 130 名)
- ・室戸へのフィールドワーク 01/19(日)「ビキニデー in 高知 2025」実行委員会主催 20 名)

5.食料自給率の向上と地球環境の保護に取り組む

6.原発をなくし「福島」を繰り返さない

「まもうろ平和・なくそう原発 ACT10in こうち」11/30(土) (高知市中央公園)

7.日本近現代史を学び、東アジアの人々と共有できる歴史像を構築する

- ・「8・15 戦争を語りつぐつどい」実行委員会 06/21(金)県教組会議室)
- ・満州事変 93 周年日中不再戦碑建立 32 周年記念のつどい 09/16(月) (35 名) 日中友好協会と共催
- ・「8・15 戦争を語りつぐつどい」実行委員会 09/20(金) (県教組会議室)
- ・『「建国記念の日」に反対し日本の今と未来を考えるつどい」02/11(火) (高知城ホール 150 人)

8.戦争遺跡や関連資料の調査・保存、整備、活用を推進する

- ・第 17 回鶴来島調査 2024/05/26(日)、2025/04/26(土)～27(日)、05/01(木)～02(金)
- ・第 11 回戦争遺跡保存四国シンポジウム愛媛・西条大会 06/08(土)～9(日)
岡村館長他 6 名「高知中央部南岸地区の本土決戦陣地について」福井康人理事が発表
- ・朝倉忠霊塔納骨堂調査 (写真右)
(07/12・10/5・11/29・12/7・12/28・1/13・2/16・3/1・3/28)
- ・戦争遺跡掩体見学会 07/13(土)
(南国市前浜防災コミュニティセンター、15 名)
- ・第 27 回戦争遺跡保存全国シンポジウム北九州やはた大会
08/16(金)～19 九州国際大学 出原副館長
- ・「ぶらっとまち歩き」8/24(土)
(高知市内の戦争遺跡見学 馴田常任理事 参加者 2 名)
- ・高知県民主青年同盟・香南市「震洋隊殉国慰霊塔」など
戦跡フィールドワーク 09/30(月) (10 名・松村常任理事)
- ・高知医療生協・前浜掩体壕群～震洋隊殉国慰霊塔ほか
フィールドワーク 12/10(火) (20 人・松村常任理事)
- ・香美市甫喜ヶ峰の聴音壕・レーダー (電波警戒機) 基地跡への
看板設置について協議。
森林環境整備課香美市生涯学習課に看板文案提示 01/20(月) (大原理事・出原副館長)



9.いのちとくらしを守り、地域の歴史と文化を生かしたまちづくりを推進する

- ・生活と平和を守る高知市民の会事務局会 05/13(月) 6/3・7/8・1/6・2/4・3/3・5/14 (出原副館長)
高知市長・教育長と懇談 08/22(木)
- 学習会 02/16(日)「過去の地震・津波から考える事前の備え」(オーテピア高知図書館・集会室)
- ・ソーレネットワーク会議 5/25(土)

10.日本で最初の民主主義運動である自由民権運動の研究に努め、その教訓を普及する

高知市立自由民権記念館友の会の運営に参加し、取り組みを推進しました。また、結成された「民権 150 年」高知県実行委員会に草の家として参加し、実行委員会の取り組みを成功させました。

以下は民権友の会等が「民権 150 年」企画として取り組んだ取り組み。

- (1) 演会：友の会総会・記念講演会(4/29)、第 24 回「県詞の日」記念講演会(9/21)に参加。
- (2) 民権史跡探訪
 - ・「民権運動の聖地・丸山台と周辺の史跡めぐり」(5/26)に参加。
 - ・「民権 150 年記念史跡めぐり『五日市憲法に会いに行こう』」(2/13～15)に参加
- (3) 第 25 回「民権風まつり」(小学生対象：風づくり 12/22、風あげ 2025 年 1/4)に協力
- (4) 顕彰の取り組み (兆民忌 12/13、無天忌 25 年 1/23・、秋水忌 25 年 1/24)に参加

11.反戦・平和の活動家の顕彰や新たな資料の発掘を行う

- ・第 4 回榎村浩碑前祭 06/01(土) 参加者 21 名
- ・「榎村浩」墓前祭 (11 名) 09/03(火) (週間金曜日に掲載され、草の家ブックレット No13「榎村浩に会いに」40 冊注文)

12.平和資料館・草の家として、内容を充実、発展、役割を発揮する

(1)理事会・常任理事会・総会

- ・2023 年度第 2 回理事会 05/18(土) 参加理事 13 名
- ・2024 年度総会 06/01(土) (参加者 26 名) 懇親会 (参加者 17 名)
- ・第 1 回常任理事会 06/27 以降、7/25・8/29・9/26・10/31・11/28・1/30・2/27)
- ・第 1 回理事会 12/19(木) 参加 16 名、「望年会」参加 22 名

(2)「草の家だより」4 回発行 No163 (6/14) No164 (9/27) No165 (12/20) No166(3/20)

(3)草の家行事

- ・「平和資料館・草の家」創立 35 周年記念レセプション 11/11(火) 35 名・懇親会 27 名参加
記念講演「戦没者について調べること」高知大学小幡尚教授
「9 条の碑」の高知建立を提起、全一致で承認
- ・草の家・大掃除 12/27(金) (10 名)
- ・草の家・新年会 01/26(日) (約 40 名) 餅つき、音楽演奏など

(写真右)



(5) ピースウェイブ

- 06/30(日) 「折鶴」吊り上げ作業 29 束 学校 7 校ほか
- 06/30(日) 「平和七夕」スタートの集い
(岡崎清恵実行委員長挨拶 40 名)
- 07/03(水) 第 46 回戦争と平和を考える資料展スタート
- 07/04(木) 第 20 回高知市平和祈念式追悼集会
(「高知市平和祈念の碑」前 65 名)
- 07/28(日) 第 42 回平和七夕まつり・撤去 (京町商店街)
- 09/26(木) 「2024 ピースウェイブ in こうち」第 2 回実行委員会 (草の家)
- 02/21(金) 「第 47 回戦争と平和を考える資料展」実行委員会 (草の家)
- 02/21(金) 「ピースウェイブ 2025」第 1 回実行委員会 (草の家)

(5)高知市の平和事業に協力する

(6)その他取組

- 08/08(木) 草の家 SNS 等作業チーム、草の家の動画作製 (森本・馴田・岡村和)
- 11/26(火) 高知県立大学社会福祉学部・公開講座、野田正彰氏 (草の家特別顧問) による「日本の精神医学・精神医療の本質」講演会 (高知県立大学池キャンパス) 草の家後援

< 講演会 >

- 06/22(土) 春野母親大会 (岡村副館長)
- 07/14(日) 第 64 回にはま母親大会・講演 (岡村副館長)
- 07/15(月) 民主青年同盟高知県委員会「731 部隊と日本の戦後」講演 (岡村副館長 14 名)
- 07/20(土) 「特定利用港湾について」須崎市での学習会 (岡村副館長)
- 08/01(木) 日本共産党高知県議団「特定利用港湾」についての学習 (岡村副館長)
- 08/03(土) 「高知市平和の日」記念事業・平和祈念講演会 (岡村館長 26 名オーテピア)
- 08/04(日) 香川県母親大会 (岡村副館長)
- 08/10(土) 「香長平野の戦争遺産展」記念講演 (出原副館長 35 名)
- 08/28(水) 高知県立大学・地域連携課「高知の戦争遺跡と戦争博物館をめぐり戦争の記憶の継承について考える」高知大空襲の語り部 (草の家 岡村館長 18 名)
- 09/19(木) 高知ペンクラブ「たのしくまなび、合う会」講師 (岡村副館長 15 名)
- 11/03(日) 憲法公布 78 周年県民のつどい「戦争の記憶に学び、平和憲法を活かす」150 名
「海外では同戦争に学び、平和構築に取り組んでいるか」立命館大学山根和代客員教授
「戦争遺跡を平和の砦に」出原副館長 (こうち男女共同参画センター・ソーレ 3 F)
- 12/07(土) 雇用支援機構労働組合 (写真右)
(草の家・四国四県の組合員のみなさん 37 名・岡村館長)
- 01/25(土) 「安保 3 文書」を考える講演会
(香美市革新懇・岡村副館長)
- 02/02(日) 「安保 3 文書」を考える講演会
(高知市東部 9 条の会・岡村副館長)
- 02/24(月) 「語ろう、子どもと教育～参加と共同の学校づくり・教育課程づくり交流集会」
「憲法と平和教育」での講演 (出原副館長・オンライン)



< 出前平和講座・語り部 >

- 06/07(金) 高知市・朝倉小学校 (1～6 年生 650 名)・語り部
(岡村館長ご夫妻)
- 06/15(土) 東洋町・甲浦小学校 (1～6 年生約 40 人+保護者など約 100 人) 岡村館長・松村常任理事
- 06/19(水) 高知市職員労働組合・保育分会講演 (ちより街テラス 23 名 岡村館長他)
- 07/03(水) 高知市・秦小学校「平和学習」語り部 (全校約 670 名 岡村館長)
- 07/05(金) 高知市・はりまや橋小学校「平和学習」語り部 (全校約 420 名、岡村館長ご夫妻)

- 07/10(水) 高知市・三里小学校「平和学習」(全校約 130 名、岡村館長)
 07/11(木) 高知市・江ノ口小学校「平和学習」語り部 (1～3 年生約 80 名、岡村館長)
 07/11(木) 高知市・江ノ口小学校「平和学習」講演 (4～6 年生約 80 名、出原副館長)
 07/27(土) 一宮児童館・語り部 (岡村館長 20 名)
 08/06(火) 中土佐町立大野見小学校「平和学習」(岡村副館長 27 名)

< 資料受領 >

- 06/11(火) 川添清さん(香美市在住)から父親の「出征旗」(約 100 竿) 寄贈 (写真右)
 06/17(月) 山本明夫さん(高知市在住・元 NHK 記者) 来館
 「アーカイブス CD」ダンボール 2 箱の寄贈
 11/09(土) 「キセキ遺留品返還プロジェクト」のジャガード千津子氏(アメリカ・イリノイ州)から来館(出原)。メイド・イン・オキュパイド・ジャパン(占領下の日本製)と刻印された磁器製「楊子立て」の寄贈
 02/17(月) 西川武男さんから超大型の「大東亜要図」地図や「興亜詳細大地図」などを受領
 02/26(水) 中越啓子さんから「治安維持法」関係など戦前・戦中・戦後の貴重な資料受領
 03/04(火) 朝倉の吉田希さんから「水筒」「弁当」「アルバム」など寄贈



< 貸し出し >

- 07/01(月) 高知市小高坂小学校・高知空襲資料の展示(～5 迄、全校 350 名)
 07/30(火) 日本キリスト教団土佐教会・空襲(展示 7/30～8/18) 資料貸出
 08/02(金) こうち生協「高知大空襲」資料貸出(～20 日迄)
 高知市・神田小と南国市・野田小の児童クラブにて、「ぼくの見た高知大空襲」DVD 上映と資料見学
 08/06(火) 仁淀川平和委員会「平和展」(～8/15) 資料貸出
 佐川町健康福祉センター「かわせみ」と、越知町役場で開催
 08/09(金) 「香長平野の戦争遺産展」資料貸出(～8/18 ものべ川平和委員会 402 名)
 08/24(土) 日本共産党大谷後援会「平和展」(～8/29)

< 来館者 >

- 07/06(土) 中村恵子(大阪女子学院大学大学院博士前期課程)来館 ピースウェイブなど案内
 07/28(日) 「平和の波おかやま 2024」が「高知ピースウェイブバスツアー・平和七夕のルーツを探る旅」を企画し 17 名が来高。京町商店街(岡村常任委員)、草の家(岡村館長)
 08/23(金) 法政大学愼蒼宇教授ほか 2 名が「高知県下における朝鮮人労働と強制連行」について調査・研究のため来館(剛田常任理事)(写真右)
 愼蒼宇教授著書「朝鮮植民地戦争(有志舎刊)」を寄贈される
 09/02(月) 「中村恵子さん」を囲む会(14 名)
 11/22(金) 西森茂夫初代館長の北海道大学時代の同期 5 名来館(岡村館長)
 11/23(土) 中村江里准教授(上智大学・戦争後遺症研究)来館



「2025 年度活動方針」は次の通りです。

1. 力による支配を強引に進め、歴史的に構築されてきた国際合意・秩序を破壊するトランプ政権に世界の人々と連帯し抗議の声をあげていきます。

- ① 大国間の都合ではなく国連憲章・国際法に基づくウクライナ戦争の停戦、ロシア軍の撤退を求めます。
- ② 「ガザ戦争」の即時停戦、イスラエル軍の占領地からの撤退、2 国共存を求めます。
- ③ 「ガザ」、「グリーンランド」、「カナダ」、「パナマ運河」領有などトランプ大統領の力による再分割発言を許しません。
- ④ ヨーロッパ諸国の軍拡を危惧します。武力ではなく話し合いによる安全保障の構築に叡智を傾けることが今最も求められています。

2. アメリカの世界戦略のもと中国を仮想敵国に仕立てた戦争準備は新たな段階に入り、日本が先制攻撃を行使しかねない危険な状況に至っています。「中国脅威論」、「台湾有事論」を克服し戦争反対の世論の構築に努めます。

- ① 「戦争止めよう！沖縄・西日本ネットワーク」(2025.2.22 結成)に連帯し「国家による戦争」を止めます。
- ② 先制攻撃に踏み込む危険性が多分にある「能動的サイバー防御法案」(3 文書に基づく)に反対します。
- ③ 沖縄、南西諸島など日本列島全体で強引に進められている米軍・自衛隊基地強化、ミサイル基地、弾薬庫の増設など具体的な進行状況を把握します。

- ④ 宿毛湾港、須崎港、高知港の「特定利用港湾指定」、高知空港など身近で進む戦争準備の情報収集に努め共有します。
- ⑤ 中国との関係は日中共同声明（1972）、日中平和友好条約（1978）の精神に依拠し、あらゆる紛争を話し合いで解決することを義務付けた ASEAN に学び、「対立と分断」ではなく「平和と協力」の東アジア社会を目指します。

3.憲法の蹂躪・空洞化を許さず、立憲主義、民主主義を取り戻す活動を推進します。

- ① 学術研究を政府・財界の意向に従わせ、軍事研究を推進させる日本学術会議法人化法案を廃案にします。
- ② 「9条の碑をつくるこうちの会」事務局として運動を盛り上げ碑建立に邁進します。



4.被爆 80 年に向けて、「核兵器のない世界」の実現をめざす

- ① 世界 73 の国と地域が核兵器禁止条約を批准しています（2024 年 9 月現在）。核禁条約を批准する政府を実現するために、日本原水協が呼びかける「非核日本キャンペーン」に賛同し積極的に取り組みます。
- ② ビキニ被ばく船員訴訟裁判（労災訴訟裁判・損失補償裁判）の支援と、ビキニデーin 高知実行委員会に参加し取り組みます。

5.食料自給率の向上と地球環境の保護に取り組む

- ① 米価の高値が続いています。稲作農家は 2000 年 174 万戸が 2020 年には 69 万戸に減少、米政策の転換など第一次産業を育成・発展させ自給率の向上を国政の中心課題とすることを求めます。
- ② 省エネ、節電など地球環境にやさしく持続可能なライフスタイルの確立に努めます。
- ③ 香美市香北町谷相等への巨大風力発電所建設計画に反対します。（風車高 140～180m、36 基）

6.原発をなくし「福島」を繰り返さない

- ① 「原発依存度を低減する」（2011 年）から「最大限活用」「新期建設」へとエネルギー政策を転換させた閣議決定（2/11）の撤回を求めます。
- ② 福島原発事故による汚染水の危険性を学習するとともに海洋放出の中止を求めます。
- ③ 伊方原発の再稼働反対を求め「原発をなくす県民連絡会」に参加し取り組みます。

7.戦後 80 年、改めて日本近現代史を学び東アジアの人々と共有できる歴史像の構築に寄与する

- ① 日本近現代史を系統的に学び歴史事実の隠蔽や歪曲を許さず、侵略戦争と植民地支配の実態を検証し、加害・被害・抵抗・創造の視点から歴史を学びます。
- ② 「徴用工」問題、「慰安婦」問題について、歴史問題の認識を深め、国際人権規約の視点から学び理解を深めます。
- ③ 韓国植民地歴史博物館、侵華日軍第七三一部隊罪証陳列館との友好交流協定にそって取り組みを進めます。

8.戦争遺跡や関連資料の調査・保存、整備、活用を推進する

- ① 戦争遺跡の調査・研究を通して、戦争の実相を学び戦争遺跡保存の今日的意義を追求します。
- ② 資料の収集、整理、保管に努め、収蔵資料台帳の作成とデータ化を目指すとともに県内戦争遺跡の紹介や見学会の実施、「草の家」所蔵資料について情報発信します。
- ③ 鶴来島、朝倉忠霊塔納骨堂など戦争遺跡の調査を進め文化財指定など、行政に働きかけます。

9.いのちとくらしを守り、地域の歴史と文化を生かしたまちづくりを推進する

- ① 「平和と生活を守る高知市民の会」に参加し、民主団体と交流しながら住み良い街づくりに努めます。
- ② 新図書館西敷地を「広場」として残すことができました。引き続き豊かな「街づくり」を追求します。

10.日本で最初の民主主義運動である自由民権運動の研究・顕彰に努め、その教訓を普及する。

- （1）高知市立自由民権記念館友の会の運営に参加し、取り組みを推進します。

- ① 講演会
 - ◎ 2025 年度友の会総会・記念講演会(4/29)
 - ◎ 「県詞の日」記念講演会（10/18）
 - 演題（仮）「高知の福祉を支えた人びとー明治・大正・昭和ー」
 - 講師：氏原和彦氏（元自由民権記念館学芸係・民権友の会会員）
- ② 民権史跡探訪（日程未定）
- ③ 民権風まつり（小学生対象）（風づくり 12/21 風あげ 26 年 1/4）に協力
- ④ 顕彰の取り組み（兆民忌 12/13、無天忌 26 年 1/23、秋水忌 26 年 1/24）



11.今年は治安維持法施行から 100 年です、反戦・平和の活動家の顕彰や新たな資料の発掘を行う

- ① 「反戦・平和の碑」巡りを企画し、県内外の方に高知の誇るべき抵抗の歴史を紹介します。
- ② 槇村浩「碑前祭」（6/1）・「墓前祭」（9/3）を開催します。

12. 平和資料館・草の家として、内容を充実、発展、役割を発揮する

- ① 「2025 ピースウェイブ in こうち」、「第 47 回戦争と平和を考える資料展」、「第 43 回平和七夕」の成功を目指します。
- ② 資料の貸し出し平和学習など、講師派遣の要請に積極的に応えていきます。
- ③ 新たに 30 名の会員増を目指します。
- ④ 会費未納者をなくし、草の家の財政確立に取り組みます。
- ⑤ 『草の家だより』を一層充実させます。
- ⑥ 県内の様々な団体と連携・協同・参加を役割分担しながら取り組みます。
- ⑦ 上記活動の充実を図るために、常任理事会とともに総会を含めて年 4 回の理事会を開催し、草の家の担い手づくりに努めます。
- ⑧ 毎月開催する常任理事会、理事会において、ミニ学習会を行います。
- ⑨ 「平和と生活を考える高知市民の会」、「郷土の軍事化に反対する高知県連絡会」、「ソーレネットワーク」、「憲法アクション」などの民主団体に代表を送ります。
- ⑩ 高知市平和事業に参画します。

岡村正弘館長が名誉館長に 新館長は出原恵三さん



岡村正弘・名誉館長

岡村正弘館長は、2005 年 5 月より初代館長西森茂夫さんからバトンを受け継ぎ 20 年の長きにわたって草の家館長を務められてこられました。先月 5 月 18 日の総会において名誉館長とされました。

岡村さんは 1945 年 7 月 4 日の高知大空襲で母親と妹さんを亡くしています。毎年夏になるとその体験と戦争について高知市内を中心に県下の小中学校に出かけられ、パートナーの花子さんとともに平和授業を行ってき

ました。その回数は 400 回以上を数えます。高知城、旧高知海軍航空隊通信壕、旧歩兵第 44 連隊弾薬庫などの

保存運動の先頭に立ち次々と保存を実現してこられました。岡村さんはお元気ですが、今年春、体調を崩されたこともあって、今回館長を引かれしました。名誉館長になっても可能な範囲で平和授業などには出られます。

後任にはこれまで副館長だった出原恵三さんが務めることになりました。岡村館長同様によりしくお願い致します。



出原恵三・新館長

新理事のご紹介



島村千春さん

西森先生がお元気な頃から書道教室でお世話になっていました。退職後も書道教室で楽しんでいきます。よろしくお願いします。

会員のみなさんへ

「草の家だより」No167 号より、カラー版 8 ページで発行することになりました。引き続きよろしくお願いいたします。

年 4 回の発行で次回は 9 月の発行予定です。

下記にご紹介する草の家ホームページや各 SNS でも発信しておりますので、ぜひご覧ください。

ホームページ ⇒

平和資料館・草の家



Blog
.livedoor



Facebook



instagram



X

槇村浩を訪ねて <寄稿>

新緑がうたい、溪流は高らかな瀬音を響かせる仁淀川を下って、初めて高知に入った。長年の夢だった槇村浩のお墓を訪ねるためだ。いつ槇村浩を知ったのか、思い出せない。「間島パルチザン」の詩は衝撃だった。侵略の歴史を知り始めた頃だから 70 年代か。あの時代にこのような詩をうたった人がいた。槇村浩は憧れの人だった。それからあまりにもいろいろなことがあって毎日慌ただしく過ごしていたところ、何年か前に朝日新聞記者中村尚徳さんの「反骨の記録」を目にした。すぐに行きたかったが介護で身動きがとれなかった。そうして今回、やっと実現したのだ。

「草の家」。なんて素敵な名前だろう。おまけに家の前には田島征三さんと信楽のアーティストが作った陶板がある。中にいた人はフレンドリーでべたつかず軽やかだった。お名前を聞くと 3 番目の岡村さんとのことだ。女性は西森さん。昔からの知り合い、そんな感じのする方だ。3 番目の岡村さんにお城の西側、平和通りを案内してもらった。そこには槇村や竹本の詩があり、高知県民がたてたとする不再戦の碑があった。碑文には、しっかり侵略事実が書かれている。右翼に知られたら、「群馬の森」になってしまうんじゃないか、心配になった。お城の西側が監獄だったことには恐れ入ったが、その横にこうして加害の歴史を刻むとは、高知の民衆は腹が据わっている。

いよいよ槇村浩のお墓だ。これは初めての人にはわからない。そこまで来ていても行き着かない。まるで、金子文子(第 2 の大逆事件)が埋葬された韓国のお墓に行くようだ。落ち葉を踏みしめて着いた。立派な石がお母さんのと並んでいた。刻まれた字は槇村に似つかわしい。それにしてもなんだか寂しいなあ。死後もその一生のように、しみじみ寂しい。明るい光の中へ移してやれないものか。



5/19 来館の渡辺さん（右端）と木原さん（中央）

今回最も印象に残ったのは、草の家の活動の 1 つ「加害」の歴史を忘れない、ということだ。そのような意識で活動が続けておられる人々がいた。とてもうれしかった。私も歴史責任をずっと抱えてきた。東京で石原慎太郎が出した通達「日の丸・君が代」強制に反対して起立拒否し、停職 6 ヶ月処分まで受け 20 年間裁判を闘ってきた。活動は違っても、ここにも同志たちがいたのだ。力がわいた。おいしい鰯のたたきもいただいた。ありがとう！必ず再訪！

福井県・渡辺厚子

「槇村浩」墓前祭のご案内

開催日：2025 年 9 月 3 日(水)07:00～

場 所：槇村浩の墓石

（上町 5 丁目電停北、高知市平和町、通称蛭ヶ谷）にて

※ 初めてのの方は直接に墓石までは困難と思いますので、前日までに「草の家」までご連絡ください。

